



全銀協のBCPに関する取組み

平成25年1月31日

一般社団法人 全国銀行協会

これまでの取組み

第3次中期計画（平成22～24年度）

新型インフルエンザ対策等、銀行界全体としての業務継続体制の整備・向上

- A. 会員行におけるBCPの構築・運用支援
- B. 事務局のBCP体制構築
- C. BCPの実効性向上のための訓練の実施

22年度	新型インフルエンザ(強毒性)対策に係る訓練を実施
23年度	「震災対応にかかる業務継続計画(BCP)に関するガイドライン」を策定
24年度	震災対応に係る訓練を実施

今年度訓練の問題意識

◆東日本大震災の教訓◆

広域長時間の停電、燃料不足による物流への支障など、社会的状況の影響への備えを検証

◆業界横断訓練◆

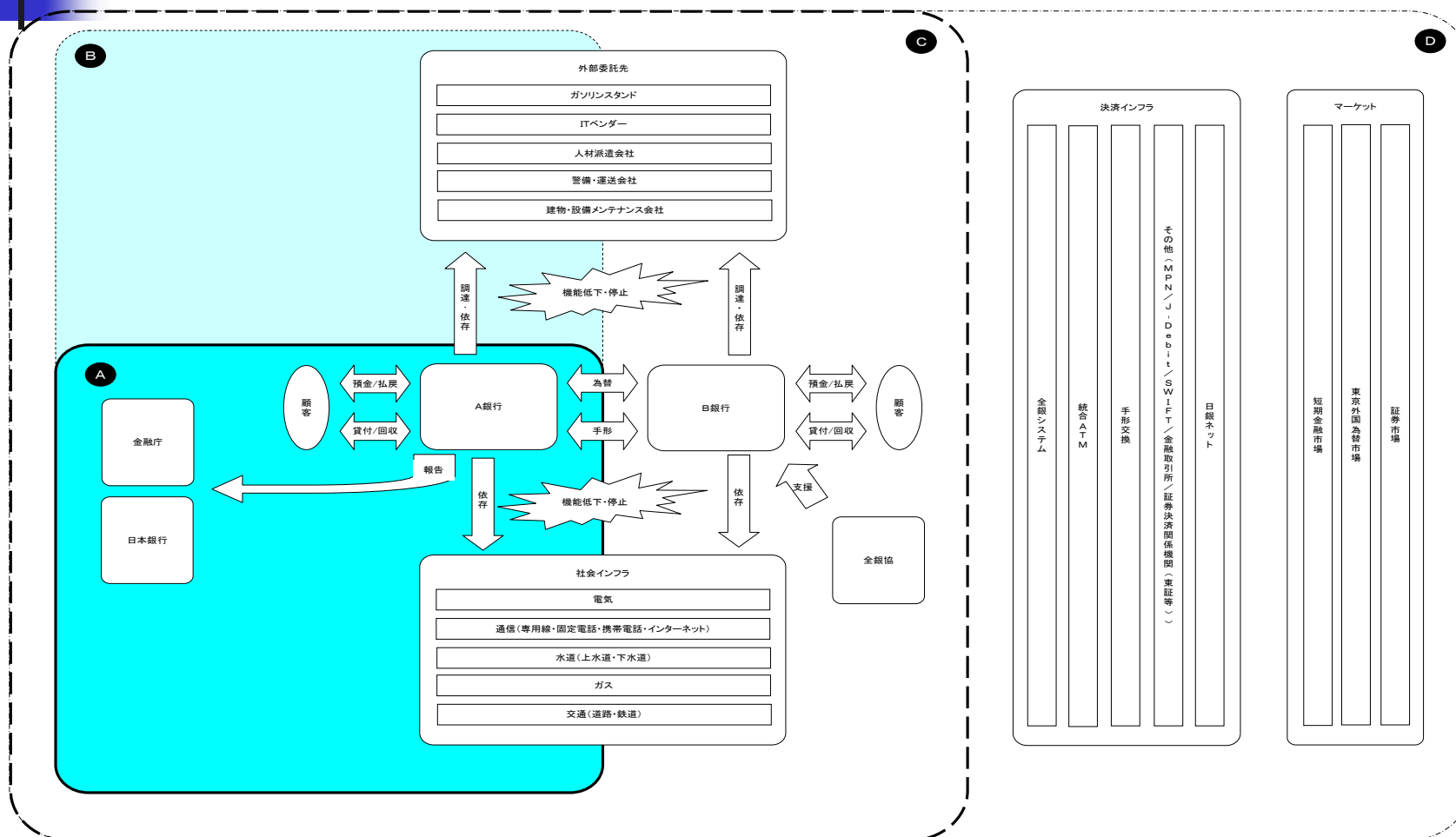
個別行単独の訓練では検証困難な金融機能が高度に集積する首都被災時の金融機能の継続性を検証

①電力、通信等のライフラインや警備・運送等の外部委託先への依存関係を検証

②首都直下地震を想定

課題発見型訓練
を志向

訓練範囲イメージ





訓練概要

目的	<p>震災発生時における社会的状況との整合性や他者との依存関係についての確認および検証を中心に次の観点からの対応を図ることにより、銀行界全体の業務継続体制のさらなる向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 会員行における自行BCPの実効性の検証とその改訂に向けた課題の抽出 ② ①を通じた銀行界全体の業務継続体制の向上と課題の抽出 ③ 金融システム・社会機能の維持の観点からの検証
訓練日	<p>平成24年12月5日（水）</p>
参加者	<p>正会員、準会員（任意）、特例会員 合計：155行 金融庁、日本銀行</p>
訓練方法	<p>机上訓練（質問・回答形式）／一部実働訓練（報告訓練）</p>



訓練シナリオ（概要）

- 午前10時に東京湾北部を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生。最大震度は7で、広範囲の地域が震度6強となった（震度に応じてA～Dのエリアに区分し、被害設定）。
- 電力、通信等のライフライン・インフラが途絶、機能低下する等の被害が発生するとともに、これにより警備・運送等の外部委託先との連絡も不能・困難な状況が発生。
- また、被災日から3日目においても、一部地域（千代田区・中央区等）で停電が継続。

訓練全体イメージ

